



まほろばの丘から



令和4年4月8日 文責 校長 江口 尋信

令和4年度の新学期を迎え、子どもたちは期待と希望に胸をふくらませ、元気に登校してきました。きっと、どの子も、新しい先生や友だちとの出会いに胸をドキドキさせながら登校してきたことでしょう。4月は、集団登校をおこなっている地域もあり、上級生が下級生と並んで登校する様子は微笑ましいものです。



児童の登下校に合わせて、多くの地域の方が「見守り隊」として交差点等に立ってくださっています。また、保護者の方々も当番を決めて立ってくださっています。朝夕の児童の登下校を見守っていただいているおかげで、子どもたちは安心して学校に通うことができます。(写真は、筑紫野警察署の方が児童の登校見守りをしている様子)

みなさんも経験があると思いますが、新しいノート of 1 ページ目を書くときでさえ、わたしたちは気持ちも新たに、大切にノートを使い始めるものです。ましてや、新年度、新学期、新しい学級、新しい教室、新しい級友等々、新しい出会いに子どもたちが張り切らないわけがありません。この素敵なドキドキがしばまぬよう、全職員で力を合わせて指導にあたっていきたいと思います。

また、太宰府西小学校は、学校・家庭・地域の三者が子どもたちを共に育てていくコミュニティ・スクールです。本校の教育活動は、三者による「**共育**」活動をめざしています。子どもたちが通いたい学校、保護者が通わせたい学校、地域が支援したい学校づくりを進めていきたいと思っていますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

本校の教育目標

太宰府西小学校の教育目標は、「よく考え心豊かにたくましく国際社会を生きる子どもの育成」です。この目標の前段（「よく考え心豊かにたくましく」）は、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成をめざすことを表しています。

「よく考え」・・・<知>	確かな学力を育てます！
「心豊かに」・・・<徳>	自他を大切に作る豊かな心を育てます！
「たくましく」・・・<体>	最後までやり抜く体力と気力を育てます！

後段（「国際社会を生きる子ども」）には、多様な価値観をもち、学んだことを活かしながら、国や地域といった垣根を越えて活躍する子どもたちを育成したいという願いを込めています。太宰府西小学校は、「知」「徳」「体」の面から子どもたちの「よさ」を伸ばし、生きる基盤をつくる学校でありたいと思っています。